

令和6年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立馬込第三小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・国語の説明文の書き方やインタビューの学習と関連させることで、おもちゃの作り方の説明や地域の方へのインタビューの活動が充実した。
- ・観察をする際に、国語の学習と関連させて、植物や虫の色・形・大きさ・動き・触った感じなどを視点に観察することができた。五感を使った見方ができており、多くのことに気付き、観察カードにまとめることができた。
- ・近隣の幼稚園との交流では、児童が活動の内容の一部を計画し、主体性が高まった。
- ・学校外の活動では、スクールサポーターの協力を得て、図書館見学やお店インタビューを行うことができた。

(2) 課題

- ・校舎改築のため、学校内の自然が減り、多様な生き物と関わる機会を確保することが難しくなった。動物と触れ合えるように他の機関と連携しようとしたが、日程や予算の都合で、実現することができなかった。多様な生き物と関わる機会を作るための方法を検討する必要がある。また、砂遊びをしたり、水遊びをしたりするための場がなく、工夫しながら遊びを発展させていく学習を行えなかった。限られた場所で、様々な遊びをすることができるよう工夫し、砂遊びや水遊びを経験させる。
- ・一度の活動で気付いたことがあっても、その気付きから新たな活動を考え、深めていくことが十分でなかった。繰り返し活動をすることで気付きの機会を与えることが必要である。

2 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 1年生との関わりや成長アルバム作りを通して、自分の成長を実感させていく。過去の作品等と比較する活動を通して、知識や技能が向上していることにも気付くことができるようにする。 ・ ICT サポートと連携し、記録を残したり、考えを伝えたりするための手段として、タブレットをより多くの場面で活用できるようにする。	・ 友達との関わりや情報交換を大切にしながら活動させていく。友達のよさや自分との違いに気付いたり、相手の考えを尊重する態度を身に付けたりするなど、友達との関わりを通して視野を広げ、より深く考えることができるよう指導する。 ・ ICT 機器を活用して、定期的に写真で記録を残すことで、観察している動植物の変化に気付くことができるようにする。	・ 限られた場を最大限活用し、様々な活動や遊びを工夫して行うことで、児童の意欲を引き出すことができるようにする。 ・ 他教科の学習場面でも、生活の中の気付きに関することを話題に出したり活動したりする。 ・ タブレットや紙媒体、劇など様々な表現方法を経験させる。「どのようにして伝えたいか」を考えさせることで、児童一人一人が主体的に取り組むようにする。